

令和3年度 第13号 (208号)

立ろうだより



令和4年3月16日 発行
東京都立立川ろう学校
校長 村野 一臣
〒190-0003
東京都立川市栄町1-15-7
電話042-523-1358
ファクシ042-523-6421



ありがとう そして よろしく 伝統を未来へ



こうちよう むらの かすおみ
校長 村野 一臣

令和3年度も終わりを迎えようとしています。そして、立川ろう学校は、70年の歴史を礎に新たなスタートをきることにあります。

3月8日(火)に「ありがとう そして よろしく 伝統を未来へ バトンタッチの会」を開催しました。立川ろう学校としては、最後の全校行事として位置づけ、幼児・児童・生徒を中心として、立川ろう学校の歴史を振り返り、立川学園へ向けて全校で取り組んでいくという気持ちを込めて進めました。

プログラムは、右のような内容です。小学部4年生の息の合った力強い天平太鼓のオープニング、そして幼稚部3年生の荒馬で始まりました。広い体育館で元気に駆ける荒馬がとれも可愛らしかったです。第二部は、合奏コンクールで銅賞をとった小学部6年生の「いのちの歌」を全校に披露しました。心の籠った合奏に涙腺が緩みます。その後、専攻科生が制作した動画「立川ろう学校の歴史」、タイムマシンに乗って70年前の立ろうへ。立川ろう学校を知り尽くした水上先生も登場し、笑いもある分かり易い内容となっていました。引き続き、本校卒業生の御子息である早藤真紀さんと専攻科生徒全員で切れのよいダンスを披露してくれました。

第三部は、全校で作った「70年間 ありがとう 立川ろう学校 思いをつなごう 立川学園」の旗の紹介と立川ろう学校のマスコットキャラクター「タッチ」と新キャラクター「やーえ」紹介とバトンタッチ、そしてみんなでパブリカを踊り、校歌を高等部3年生と共に歌いました。

最後に高等部の生徒会長の最後のことばを紹介し、学校の学校だよりの終刊とします。

「私自身も、ここ立川ろう学校で、いろいろな人と出会い、いろいろと経験をしてきました。時に大きな壁にぶつかって、一人ではどうにもできないこともありました。そのたびに、皆で力を合わせて壁を一つ一つ乗り越えことができました。これが今の私の自信につながっています。だから、立川ろう学校の生徒でよかったと心から思っています。立川ろう学校を誇りに思っています。

これも、今ここにいる皆さんのおかげです。そして、70年もの長い間、数えきれないほどの先輩方、先生方、関係者の皆様が、この学校と伝統を作り上げ、ずっと守り続けてくださったのおかげです。だからこそ、私たちは、安心していろいろなことに挑戦し、楽しい学校生活を送ることができているのだと思います。心から感謝申し上げたいと思います。

もうすぐに学校の名前は変わります。でも、一緒に先輩方が作ってきた立川ろう学校の伝統を引き継いでいきましょう。そして私たちと知的障害のある人たちとも一緒に、輝かしい未来を切り拓いていきましょう。

最後に「立川ろう学校、70年間ありがとうございました。そして、立川学園、これからよろしくお祈いします。」

保護者皆様、関係者の皆様、本当にありがとうございました。4月からも引き続き「ろう教育部門」への御理解と御支援をよろしくお祈い申し上げます。

○プログラム

第一部

オープニング 太鼓 小学部4年生

(1) はじめのことば・荒馬 幼稚部3年生

(2) あいさつ 校長先生

第二部

(3) 小学部の合奏 小学部6年生

(4) 立川ろう学校の歴史・動画 専攻科生&ダンス講師

第三部

(5) 旗の紹介 小学部5年生、中学生会

(6) バトンタッチ 中学生会役員

アニメーションで“タッチ”と“やーえ”登場

(7) みんなでパブリカ

(8) 校歌 高等部3年

(9) おわりのことば 高等部生徒会長

『立川ろう学校 卒業・修了おめでとう』

ふくこうちょう かとう のりひこ
副校長 加藤 紀彦

幼稚部3年、小学部6年、中学部3年、高等部普通科3年、専攻科2年の皆さん、卒業・修了おめでとうございます。皆さんが立川ろう学校最後の卒業生、修了生になります。

幼稚部のみなさんは 小学部で たくさんの ことばを おぼえて たくさん べんきょうや うんどうを して ください。

小学部の皆さん。中学部は自分の可能性を広げる場です。色々なことに挑戦して、自分のもっている可能性を試してみましよう。

中学部の皆さん、中学部で見つけた自分のポテンシャル（可能性）を高等部で最大限に展ばして、社会に出ていくための自信をもちましよう。皆さんは 18歳で成人になります。

高等部普通科の皆さん。就職する人、専攻科や大学に行く人、様々ですが、普通科で身に付けたことを次の場で十分発揮してください。皆さんも4月1日から成人です。

そして専攻科の皆さん。社会人の世界は甘えや指示待ちは許されません。また、守ってくれる人もいません。自分の力で周りの人とコミュニケーションし、仕事を任せられる人になってください。でも、厳しいぶんだけ楽しいこと、自由にできることがたくさんあります。期待しています。

開校から70年、立川ろう学校はたくさんの卒業生、修了生を送り出してきました。その中に、私が担任した高等部の生徒たちも含まれています。今はみんな社会人になって、仕事に、子育てに、家庭に奮闘しています。今でも連絡をとりあうことがあります。みんなこの学校が大好きです。

立川ろう学校もここで卒業・修了です。それぞれの心に良い思い出として存在していくでしょう。卒業生、修了生の皆さん。おめでとう。そして立川ろう学校 卒業・修了おめでとう。

『 70年の歴史を未来へ バトンタッチ 』

ふくこうちょう くさま
副校長 草間 みどり



いよいよ立川ろう学校が立川学園に引き継がれます。3月8日、バトンタッチの会が開かれました。3年前に計画を立て始めました。タイトルは生徒会が考え、横断幕はSDGsを学ぶ高等部生が古着から作りました(左) 旗は幼稚部から専攻科まで各学級で製作、全員の手形が入っています。みんなの思いがまとまって、未来へ羽ばたいているような気がしました。(下)



また多磨愛育会から70周年記念キーホルダーをいただきました。会長様からのメッセージをお子様の学年の高等部生が印刷貼付け、御家庭と学校の絆の深まりを感じました。素敵なキーホルダーをありがとうございました。立川ろう学校の沢山の思い出と共に大切にいたします。

